



特集担当者のイチオシ

その登場から間もなく9年が経とうとしているユニクロの「UTme!」に初挑戦(P18-19)。正直な話、「どうってことないサービスなんですよ?」と高を括っていたけれど……実際に体験すると何から何まで感動の連続。未経験者に告ぐ。絶対に楽しいから一度試してみてください!



CUSTOM

世界にひとつだけのジブン仕様を手に入れる!

多種多様なアイテムがカスタムメイド・オーダーメイドできるようになった昨今。自分が使うモノをカスタムすることは脱・没個性という利点を生み出すだけでなく、自分だけが所有できる特別感も手伝ってモノに対する愛着はグンとアップ! そんな魅力に溢れている、ありとあらゆるモノにまつわる“カスタムの世界”へようこそ!

俺たち、カスタム。

P16 カッコいいRCカーづくりは意外とカンタンだった!!
BLOCKHEAD MOTORSの流儀

P18 ユニクロでオリジナルTシャツをつくる!
すごいよUTme!

P20 心のままに色で遊んで、彩り豊かな人生を!
色モノいろいろ集めました

P24 フライトジャケットにカスタマイズする
ミリタリーワッペンカタログ!

P26 コレクターズアイテムとしても大人気
カスタムナイフの世界

P28 ザ・ノース・フェイスもカスタムメイドの時代
世界にひとつだけのプロダクツ

P30 世界にひとつだけの空間を手に入れる
カスタムホーム計画

P32 乗り物好きのカスタム狂人生【Part.1】
唯一無二に恋い焦がれて。

P34 二輪界のカスタムシーンは
原付二種のレジャーバイクが花盛り!

P36 日本には欲しい逸品があふれてる
こだわりの傑作カスタマイズ

P38 ノーマルのフォルムに自然に溶け込む
モデリストのエアロパーツ

P40 ジブン仕様で使いやすい
手帳&ノート文具革命

P42 ペン先からボディ、名入れ、インクもね!
嗚呼! 憧れの万年筆カスタム物語

P44 お洒落は足元からこだわる!
シューズカスタムという選択

P46 オーダーメイドで差をつける
ビジネススーツは群雄割拠時代!

P48 アー・ユー・ハングリー?
つくってみようぜ! マイカップヌードル

P50 NEWS! モノマガカスタム部が緊急レポート
栗山監督のメガネはコレだ!

P52 快適なパソコン環境を求めるなら……
進化系キーボード&マウスはいかが?

P54 オンラインにカスタマイズしたい
こだわりのスマホケース&ホルダー

P56 乗り物好きのカスタム狂人生【Part.2】
旧車イジるなら美意識過剰がちょうどいい。

P58 epilogue
素晴らしきかな、カスタムのある人生。

編集部より

◎商品は取扱説明書に従って正しい使い方をしてください。
掲載価格は税込みの価格です。実勢価格は編集部調べの価格です。
◎次号のモノ・マガジンは2023年5月2日(火)発売です。

mono

CONTENTS.2

2023 5-2 No.914

【連載企画】兵士が行くところならPXも行く。……082

ポストエクスチェンジ物語

文と構成／河村喜代子 写真／AAFES、米議会図書館、米陸軍、WPPコレクション
Text & Edit/Kiyoko Kawamura Photo/US Army & Air Force
Exchange Stores, Library of Congress, US Army, WPP Collection

第23回

中央アメリカと南アメリカの大陸は、もっとも細い部分でわずかに65kmの地面で結ばれていた。地続きだったので、船では渡れない。だったら運河を掘って、閘門で土地の高低差を解消して船を通すぞとなって、パナマ運河が計画された。これが世紀の難工事となり、アメリカ軍が参画して1914年に完成した。アメリカ軍が行くとなれば、そこにはPXも行くのである。

【特集】 渋く輝きたい男たちに捧げる
“ワザ見せ”アイテム

シルバーアクセ REVISITED & more 066

1990年代後半から2000年にかけて、ボクらのファッション・スタイルに爆発的に浸透したシルバーアクセサリ。その驚きから30年——今では当時その影響を受けた若者たちが、現代のセンスで新たなシルバーアクセを表現している。今回は気になるショップや彫金スクールを含め、国内シルバーアクセ事情のアレコレを取材する。

【特集】 清潔感は正義だ! 098

グルーミングと 男のスキンケア

40歳前後から気になりはじめるのが、体臭やシミ、薄毛などの悩み。最近メイクをする男性も増えているがやりすぎもちょっとコワイ。そこで、最低限やっておきたい指先ケアやムダ毛処理、スキンケア、さらにニオイ対策などを厳選アイテムとともに紹介する。また注目を浴びる泡洗顔による目から鱗の正しい洗顔方法も要チェックだ!



mono編集部モノ差し.....	006
う〜ん、うなるもの.....	010
ジン・デボ.....	012
レイジング大谷のアイビーの名のもとに.....	060
宮内裕賀の「日本イカ化計画」.....	061
monoの大捜査線 Part.1.....	062
柳町正蔵のミステリーキャスケット.....	081
monoの大捜査線 Part.2.....	088
クラボ.....	116
みんなの時計.....	118
新製品情報.....	120
スタイリングモノ.....	123
金属恵比寿 高木大地の狂気の楽器塾.....	130
みうらじゅんの今月のグッとくる宝物ベスト2.....	131
モノ進化論.....	134
モノ・ショップ新聞.....	136
インフォメーション.....	138
バックナンバー.....	139
次号予告.....	140
モノ・ショップジャーナル.....	141

BLOCK HEAD MOTORSの流儀

カッコいいRCカーづくりは意外とカンタンだった!!

カスタマイズのひとつの究極が模型づくり。なかでも比較的大柄な1/10RC(ラジオコントロール)カーは、工夫次第でいくらでもカッコよく仕上げる事ができるのだ。そんな、カッコいいRCカーの極意をデザイナーのプロに聞いてみた!

写真：熊谷義久 文：長谷川敦

「カッコよく仕上げるキモは失敗してもどうにかなるさ」

グラフィックデザイナーとして活躍しながら、同時に長年にわたる趣味でもあるRCカー向けアイテムのブランド「BLOCKHEAD MOTORS」(以下BHM)をスタートさせたJUN WATANABEさん。これまで模型メーカーのタミヤ製RCカーの特別仕様も手がけてきたJUNさんが、RCカーのボディをカッコよく仕上げていくためのモットーにしているのは何か? を訊ねた。

「BHMのコンセプトになっているのは、1980年代の実車オフロードカー。ですので、今回はそれをテーマにお話します。」

オリジナルのボディを仕上げていく際に、まずはメインとなるカラーを決めます。僕はそのメインカラーに白を組み合わせてツートーンにすることが多いですね。白って、どんな色にも合つんですよ。次に色のバランスを考えるのですが、同時にメインスポンサーのロゴをどこに入れるかを考慮して、

BHMのカスタム流儀その1 カーナンバーゼッケン

リアルなカーナンバーがディテールアップに貢献
カーナンバーは実車的な雰囲気を高めるアイテムのひとつ。今回の作例で紹介するグラスホッパーではリヤサイドエアダムにオーバル状のカーナンバープレートを装着しているが、サイドダムよりはみ出させることによって存在感を強調。手書きのナンバーでレトロ調に仕上げたこともポイントだ。

BHMのカスタム流儀その2 タイヤレタリング

タイヤのロゴはホワイトペンでマーキング!
タイヤはキット標準品。サイドウォールのロゴはあらかじめ刻印されているが、これを実車よろしくホワイトのペンで塗装している。こうした細かい気配りこそが全体のイメージを高めるのだ。ホイールをクロームのスプレー塗料で塗装しているのも注目ポイント!

BHMのカスタム流儀その3 メインスポンサーロゴステッカー

こだわりのロゴはフォントまでBHM製!
実車レースカーではもっとも目立つ位置に貼られるメインスポンサーのロゴ。JUNさんのRCカーは当然BHMがメインになるが、基本にしているのが「ロゴがボディの色をまたがないこと」。色分けの上にメインのロゴを貼ると、メインの印象が薄くなってしまうというのが理由だ。ロゴの書体も1980年代を意識したもので、JUNさんはフォントのデータから自分でつくってしまうほどこだわっている。



店内には1980年代の海外RCカー雑誌から切り抜いた記事が! これらのフォントの書体もステッカーづくりにおいて貴重な資料となっている。

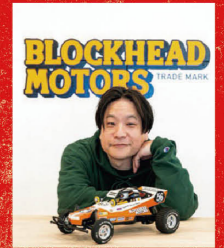
俺たち、カスタム。

カッコよさを追求するRCカーシーンの異端児 BLOCKHEAD MOTORSとは?

デザイン会社「HANAKUMO INC.」の代表を務めるJUN WATANABEさんがプロデュースするRCカー関連ブランド。1980年代風バギーをテーマに各種アイテムを展開し、タミヤからはBHM仕様のキットも販売されているほど。2022年5月には実店舗がオープンした。



【Shop Information】
①千葉県習志野市津田沼6-4-9 木村ビル3階
②平日 12時~20時、土日祝 11時~19時
③火曜日・水曜日 ☎047-409-6375



BLOCKHEAD MOTORS JUN WATANABEさん



センスあふれる店内には、RCカーキット&アイテム、BHMのアパレルなどが整然と陳列されていた。アイテム数の多さにもビックリ!

BHMのカスタム流儀その5 色の配分・比率

メインを広めにホワイトで引き締める
土の上を走るバギーのボディカラーは「自然界にない色がイイ」と語るJUNさん。そのため、原色をメインにすることが多く、白と合わせてバランスを整える。今回紹介したグラスホッパーなら、ひとりで「オレンジのバギー」と言える色の比率にするのがカッコよく仕上げるコツだ。

カスタムのベース車両はコチラ!

タミヤの「1/10RCグラスホッパー」は1980年代に巻き起こったRCブームを象徴する1台で現在も発売中。価格8140円。☎タミヤ ☎054-283-0003



JUNさん自ら手がけたグラスホッパーはBHMの流儀に則ってペイントされ、メイン&小ロゴステッカーがリアル感を演出。とくに、小サイズのステッカーがいい味を出している。

BHMのカスタム流儀その4 シャシーのカラーリング

シャシーのサイドはカラーステッカーでキメる
シャシー(フレーム)にボディを被せるスタイルのRCバギーは、外部から黒いシャシーが見えると少々興ざめ感も……。そこでBHMでは、これを貼るだけで手軽にドレスアップできるシャシー用のステッカーも販売。今回のグラスホッパーでもシャシーにオレンジのベースステッカーを貼り、その上に小スポンサーロゴをのせることで趣を高めつつ樹脂感をなくしている。



タミヤ製のグラスホッパーやホーネットにそのまま貼れるシャシー用デカール(ステッカー)は人気商品。カット済みのもうれしい。



ホットショットII BLOCKHEAD MOTORSを買えば、誰でも苦勞なくBHM仕様のマシンが手に入る!

JUNさんは「失敗しても大丈夫」と言うけれど、やっぱりうまくつくれる自信がない……という人はこちらの「1/10RC ホットショットII BLOCKHEAD MOTORS」に注目! タミヤが復刻販売した1980年代の人気バギーをJUNさんがカスタマイズしたモデルで、ボディやウイングは塗装済み。簡単にカッコいいマシンが完成する。価格2万6400円。☎タミヤ ☎054-283-0003



HONDA
Monkey
125



OVER Racing

📍オーヴァーレーシングプロジェクト
☎059-379-0037

シャープな見た目と走りが 自慢の街乗りスポーティ

“レースで勝つ!”からスタートし、高度なオリジナルバイクをつくり上げることを大きなテーマとしているOVER Racing。この2台のコンセプトはともに街乗りを楽しみつつ、スポーティにも走りたいというふたつのイイとこどり。モンキーはレースでも使えるハイスペック仕様となり、ダックスは街乗りでもスポーティなライディングを楽しめるようなカスタムが施されている。

一番のポイントはオリジナルフレームの搭載。フレームをつくってレースに出て楽しむというブランドのテーマをモンキー125で体現。街乗りでも活用可能な贅沢仕様となっている。

HONDA
Dax125



フレームキャリアやリヤキャリアといった、ちょっとした荷物を積む際に使えるツーリング&街乗りシーンで活躍するアイテム開発・展開が新たな試みだ。

俺たち、
カスタム。

AMBOOT

📍大久保製作所 info@yama-maruto.com

タフ&スマートなバッグで 楽しむライトカスタム

もともとはバイクと自転車のハンドルカバーの縫製を行っていた大久保製作所が立ち上げたAMBOOTは“あそびごころ”のあるバイク用品を展開していくことがコンセプト。リヤボックス2種類をはじめ、サイドバッグ3種類、ツールバッグ1種類の3タイプを展開している。取り付けの簡単さや見た目のスマートさも魅力だ。



HONDA
CT125

KIJIMA

📍キジマ ☎03-3897-2167

バイクでアウトドアを 快適にするカスタムを満載!

痺いところに手が届くカスタムパーツを展開するキジマ。人気のCT125用に開発されたのはキャンプツーリングを快適にしてくれるアイテムの数々だ。なかでも荷物の上積みしやすく、日常からアウトドアシーンまでフレキシブルな積載が可能なリヤキャリアラックが大好評。また現在開発中というクロススクリーンアイテムにも期待したい!



HONDA
CT125

東京モーターサイクルショーで見つけたお手本を 一挙紹介

バイクブームが再燃している昨今、その中心は小中排気量クラスであり、とくに扱いやすく趣味性の高い原付二種クラスのレジャーバイクが人気を集めている。それにともなつて、快適性と所有感を高めてくれるカスタムも注目されているようだ。ここでは二輪業界の一大イベントで見つけた、バイクライフをよりいっそう盛り上げてくれるカスタムを紹介しよう!

写真/熊谷義久 文/安室洋

二輪界のカスタムシーンは

花盛り!



純正の雰囲気を崩さないアップタイプデザインのマフラーに変更し、精悍な印象を与えるマットブラックを採用することで雰囲気をガラリと一変。ヘッドライトバイザーも丸目の印象を変えてくれる人気アイテムとなっている。

HONDA
Dax125



HONDA
CT125

YOSHIMURA

📍ヨシムラジャパン
<https://www.yoshimura-jp.com/>

存在感が抜群のマフラーと さりげない遊びゴコロで魅せる

集合管マフラーが世界的にも有名な日本が世界に誇るコンストラクターのヨシムラ。往年のバイクフリークにとってはレースのイメージが強いかもしれないが、このクラスに関してはブランドのアイデンティティであるマフラーを中心にメーターバイザーやアルミヘッドサイドカバーにテンポ・ボルトメーター、さらにはマスターシリンダーキャップなど、さりげない大人のカスタムが施されている。また、ダックス用フェンダーレスキットにはダックスの顔を採用するなど、遊びゴコロも取り入れられている。

一番の特長はシャープかつ少々厳つめなスタイルを採用した新設計のマフラーだが、パワーを犠牲にすることなく音量は抑えられている。なぜなら、この車両はアウトドアシーンでの使用も視野に入れているからだ。

PLOT CUSTOM DIVER

📍プロト ☎0566-36-0456

旅を大に楽しむ ツーリング仕様がキモ

カスタムパーツからアウトドアアイテムまで幅広く取り扱っているプロトが展示したCT125のカスタムテーマは“のんびりとアウトドアに飛び出そう!”。キャンプライダーに人気の大型シートバッグをはじめ、雰囲気のある携帯コンテナやお尻が痛くならないシートカバー、そしてフレキシブルな折りたたみ魅力のダブルテイクミラーを装備。さらにスマホホルダーや水平維持ドリンクホルダーまで備え、アウトドアを満喫できるカスタムが施されている。



HONDA
CT125

サイドに旅の雰囲気を盛り上げてくれるロトボックスのレッドコンテナを装備。キャンプで便利な手洗いや食器洗いなどの水を運ぶことが可能。

彫金技術を習得して 自分でつくるアクセサリ

はじめはファッションとして楽しんでいたアクセサリを、“自分でつくってみたい!”と思う方は意外と多い。そこでここでは彫金技術を身につけるためのスクールを探訪、どんなテクニックを学べるのか、その一端を取材してみた。

写真/青木健格(WPP) 文/モノ・マガジン編集部



シルバー
アクセ
REVISITED

彫金技術を身につけることでさまざまなタイプのアクセサリをつくることができる。同スクールでは一般的なシルバーアクセサリから和物、七宝やエナメルなどの色入れ製品まで幅広いジャンルに対応している。

時間を気にせず技術が身につく彫金スクール

京王線川崎駅から徒歩10分ほどのところにある彫金教室「彫金家族」を訪れた。最大のポイントは時間制限がないので料金を気にせず、じっくりと技術習得に取り組める点だ。自分の都合のいいときに通えるので、社会人の生徒も多いそうだ。こういう時間フリーの教室は少ないらしく、関西から通う方もいる、隠れた人気教室なのである。

コースはアクセサリ製作を趣味として学びたい方向けの「趣味コース」とブランド設立、独立開業など仕事としてプロを目指す方向けの「プロ育成コース」に大別され、ほかにまずはお試しの「1日体験コース」も用意されている。今回取材できたのは趣味コースで、こちらはアクセサリ製作に必要な技術ごとに習得をしていくコースと、実際につくりたいアクセサリを製作しながら作業に必要な技術を学ぶコースがある。今日はこまごまやろうと、時間を気にせず集中して作業できる点、昼間の空いた時間や仕事が終わった日にフラッと訪れることができる点(同コースは水曜日/土曜日の11時~19時の間でフリー)がとてもいいと生徒さんたちの言葉。彫金技術を身につけてちょっとした自作アクセサリを自らファッションに取り入れたり、家族や友人にプレゼントしたりすることも、アクセサリにまつわる楽しいライフスタイルのひとつといえるだろう。

趣味コースで学べる彫金技術

ここでは「趣味コース」で学べる彫金の基礎的技術の一部を披露していただいた。地金のカットから始まり、鏡面とマットの両方の仕上げを施したリングを製作。簡単なリングにも多くのテクニックが用いられていることがよくわかる。



教えてくれた人

製作スタッフ
栗田ひとみさん

「短時間で基礎的技術を全部見たい」という編集部の方々に快く対応いただきました。作業の早さ、的確さはさすが!



彫金に必要な道具が揃っている。工具の使用料はコース料金に込みなので、心置きなくアクセサリ製作に没頭できる。



シルバーアクセサリ&ジュエリースクール 彫金家族

〒東京都三鷹市中原1-29-1 NKビル1F ☎03-5384-3625 (11:00~19:00) (休木曜日) <https://www.fashion-designer.jp/ck/>
趣味コースの料金体系は9500~1万8000円(4回/8回のチケット制)。入会金1万円(工具、材料割引購入権付き)。他にプロ養成コースあり。



男性の生徒さんは、昔からつきたかったシルバーアクセに挑戦。「ここは時間がフリーなので仕事との調整が付きやすくてありがたい」とのこと。



女性の生徒さんは石留めの練習中。教室では伏留めから彫留めまで30種以上の留め方のなかから、つくりたいモノにあわせて教えてもらえる。





柔軟性に優れた360-Dフレックスヘッドがスムーズに360度可動。顔の凹凸にしっかりと密着し、剃り残しを低減してくれる。

5000X シリーズ
オープン価格(実勢1万5000円前後)

シェーバーヘッドにマイクロビーズコーティングを施すことで、肌の負担を低減し、滑らかな剃り心地で深剃りを実現したフィリップスの渾身作。IPX7防水仕様で、シェーバーヘッドを開き水ですぐだけで簡単に本体丸洗いができる。

©フィリップス・サポートセンター
☎0120-944-859

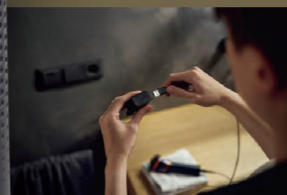


—フィリップス—
Philips

敏感肌の人にも安心して使えるやさしいシェーバー

一見して、ここで紹介している他の2社のシェーバーとは大きく異なるヘッドのカタチが目がいける。これがいわゆる回転式だ。フィリップスは回転式の代表格で、世界シェアナンバーワンの電気シェーバーブランド。とにかく肌にやさしい剃り心地には定評がある。

今春リリースされた「5000Xシリーズ」はまさにその現時点での集大成。約80年の研究を経て導き出した、深剃りと肌へのやさしさを両立する最適なシェービング時の圧力を実現している。そのほか、肌荒れを起こしにくい低アレルギー性サージカルステンレス刃の採用に加え、置く場所を選ばない自立スタンドデザイン、さらにはUSB (Type A) 充電対応と、とことんユーザーフレンドリーなシェーバーだ。



S9000 シリーズ
オープン価格(実勢4万円前後)

シェーバーに過圧防止センサーを搭載。毎秒30回、肌への圧力を感じ、適切な圧力をリアルタイムで知らせることで、ユーザーそれぞれに最適な深剃りと肌へのやさしさを両立させている。

最上位モデル

ブランドカラーのブラックに加えホワイト、イエローのカラバリも追加。

ブラウン ミニ
オープン価格(実勢7000円前後)

2枚刃ながらも最上位「シリーズ9」に搭載されている網刃を採用し、従来品よりも2倍のカットパワーを実現した手のひらサイズのモバイルシェーバー。丸型エッジにアップデートされたマイクロコームで、よりソフトな肌あたりを実現している。

©P&Gジャパン ☎0120-136-343



約60×27×110mm・150gのミニマムボディで、毎日バッグに携行できる。



洗面台や外出先でも丸ごと水洗い可能で、深剃りとともに清潔感をキープ。



ヘッドを交換すれば、シェーバーの振動を活用して化粧水を肌へ浸透させる美顔器に!



化粧水などのスキンケアアイテムを肌に塗布し、そのうえから美顔器ヘッドをあてる。



最上位モデル

シリーズ9 Pro 美顔器ヘッド 付属モデル

オープン価格(実勢5万円前後)

最上位モデルも進化。従来から35%広く、30%薄くなった新フロレード搭載で、長く伸びた寝たヒゲを効果的にとらえることが可能に。さらに交換式的美顔器ヘッドで1台2役だ!

こちらも往復式電気シェーバーの筆頭格、ブラウン。定評のある深剃りに加え、それと相反する要素であるやさしい剃り心地を独自の音波振動テクノロジーなどを駆使して完全両立させている。そんなシェーバーの名門が最近、注力しているのがイマドキのライフスタイルによりフィットしたシェーバーの在り方だ。人気モデルの「ブラウンミニ」もそのひとつ。“2個持ち”ニーズに対応するアンダー1万円の気軽にモバイルシェーバーだが、コンパクトなのによく剃れる。それでいて、シェーバーらしからぬデザインもいい。その一方でフラッグシップモデルではなんと、ヘッド交換による美顔器としての活用も。たしかに、シェーバーを替えれば顔が変わるはずだ。

シェーバーの選び方

- ☑ **肌質をチェック**
深剃り重視なら「往復式」か「ロータリー式」を、敏感肌には「回転式」がおすすめ。
- ☑ **防水性能をチェック**
フォームやジェルと組み合わせでウェット剃りしたい人は防水機能はマスト。
- ☑ **洗浄方法をチェック**
メンテナンスを怠ると菌が繁殖することも。
- ☑ **電源タイプをチェック**
お風呂で使用するならコード不要の充電式や、電池式を。

シェーバーを替えると顔が変わる!
人気モデルはコレだ!

ここ3年ほどヒゲ剃りを手抜きしていた人も少ないと思うが、マスクを外すシーンが増えそうなのでこの春は“朝の儀式”を復活させる必要がありそうだ。そこで、スマートに毎日の儀式を済ませるべく電気シェーバーの出番! いまこそ買うべき実力派電気シェーバーがここに。

文/下川冬樹

お肌へのやさしさを追求
じつはスキンの知らない間にシェーバーがかなりの進化を遂げている。深剃りと滑らかな剃り心地の追求に関しては、ここ3年間でさらにワンランク上がったイメージだ。それに加えて今シーズンのラインアップをみわたすと肌へのやさしさが目につく。そのほかモバイルや、美顔器としても活用できるなど、イマドキのニーズにフィットした新しい提案が豊富。男も肌のことを本気でケアする時代に突入というわけだ。シェーバーの2個持ち需要も増えているというが、たしかにヒゲの伸びる速度は侮れないもので、出先でサクッとヒゲ剃りしたいときも多々ある。出張先のホテルで安いT字カミソリを使って肌剃り負けてしまうのも好ましくない。スキンの話にも直結するが、肌を傷めないためには正しいヒゲの手入れと、しっかりとしたギアを使う必要がある。その点でも機能面で飛躍的に進化したい。いまこそ、電気シェーバーを買っていい。

ラムダッシュ ES-LT6B (3枚刃)
オープン価格(実勢2万1000円前後)

濃いヒゲやお風呂剃りでもパワフルに早剃りできる、ラムダッシュの人気ナンバー1モデル。3枚刃ながらも深剃り刃とトリマー刃のコンビでしっかりと深剃り。肌への余分な負担をかけない最適パワー自動制御「ラムダッシュAI」搭載。

©パナソニック 理美容・健康商品 ご相談窓口
☎0120-878-697



ヘッド部が前後・左右・上下へと自在に可動。3Dに動くヘッドで肌に密着シェービングできる。

ラムダッシュPRO ES-LS9BX (6枚刃)
オープン価格(実勢6万6000円前後)

こちらが6枚刃搭載のフラッグシップ。毎分約1万4000ストロークのリニアモーターで内刃をパワフル駆動させ濃い、太い、クセヒゲもパーフェクト対応。これでも不快な剃り残しとはさようなら!

アゴ下の複雑な凹凸にもピッタリと密着して肌をやさしく剃り上げる密着5Dシステムを搭載。

最上位モデル



コンパクトな全自動洗浄充電器システム。スイッチひとつで洗浄から乾燥、充電まで完結。

—パナソニック—
Panasonic

充実機能でお風呂剃りがさらに快適に!

深剃りかつ滑らかな剃り心地をはじめ、全体的なバランスのよさに定評のあるパナソニック・ラムダッシュ。往復式電気シェーバーの代表だが、日本人好みのキメ細やかな機能がふんだんに盛り込まれている。そんなラムダッシュの売れ筋が3枚刃の「ES-LT6B」だ。リニアモーター搭載で濃いヒゲもパワフルに剃り切ることができ、それでいてお風呂剃りも快適。刃を外さずヒゲを簡単に洗い流せる「ウォータースルー洗浄」や、入浴時に洗顔フォームからシェービング用のきめ細かい泡がつくれる「泡メイキングモード」などとにかく使い勝手がいい。その一方で、フラッグシップモデルはクセヒゲもなぞるだけで剃りあげる6枚刃システムへと進化している。

毎分約1万3000ストロークの高速リニアモーター駆動で内刃を高速駆動。とらえたヒゲを逃さず剃りきる。

グルーミングと
男のスキンケア
GROOMING & SKINCARE

Publisher

今井今朝春
Keshaharu Imai

Editor-in-Chief

前田賢紀
Takanori Maeda

Deputy-Editor

関谷和久
Kazuhisa Sekiya

松崎薫子

Kaoruko Matsuzaki

Editor

小野正章
Masaaki Ono

大谷 暁

Satoru Otani

片岡静香

Shizuka Kataoka

加藤文晶

Fumiaki Kato

友井健人

Taketo Tomoi

竹本 泉

Izumi Takemoto

荻崎 大

Dai Yabuzaki

Directing Editor

土居輝彦
Teruhiko Doi

Art Director

若山トシオ
Toshio Wakayama

Designer

フェイヴァリット・グラフィックス
favorite graphics

伊藤たまお

Tamao Itou

Staff Photographer

鶴田智昭
Tomoaki Tsuruda

青木健格

Takehori Aoki

Advertising Director

坪井一雄
Kazuo Tsuboi

鈴木敏弥

Toshiya Suzuki

上田秀一

Shuichi Kanda

Production Director

小川俊介
Shunsuke Ogawa

Circulation Manager

笹川裕史
Hiroshi Sasagawa

Print

Dai Nippon Printing Co., Ltd.

DTP

Base, Nagi

ワールドフォトプレス総合サイト

モノ・マガジンweb

に遊びに来てね!

https://www.monomagazine.com/



SNSでも新鮮情報発信中! フォローしてね!



https://www.facebook.com/monomagazine1982/



https://twitter.com/monomagazineweb/

スマホでもモノ・マガジンが読める

「dマガジン」「楽天マガジン」「ビューン」をチェック!

NEXT

次号予告

特集

■うーん、うなるモノ ■モノ進化論 ■mono編集部モノ差し ■monoの大捜査線

大人のスニーカー

ビズスタイルのカジュアル化によって、いまやノーネクタイやリュックサック通勤が当たり前。その流れは足元にもおよび、ONもOFFもカジュアルシューズという波が広がってきた。そこで、レザーやキャンパスはもとより、リサイクル素材やハイブリッドタイプなど、歩きやすさと快適性にこだわった街履きシューズを一挙紹介!

街履きシューズはこれに決定!

特集

やろうぜ、ベランダピング

家で過ごす時間が増えたことで人気急上昇なのが、自宅の庭やベランダ、ウッドデッキ、土間などを活用した「ベランダピング」。さらに快適な空間に極めるためのスベパに優れたアウトドア家具や、万能調理器具、デジタルガジェットなどのギアを中心に、トレンド情報満載でお届け! 気軽に自宅でキャンプ気分を味わおうではないか!

自宅を極上のアウトドア空間に!

総力特集

黒いモノ大集合!

とにかくブラックギア!!

ここ数年、ブラックカラーが人気だ。黒色は重厚、堅実、知的を感じさせ、高級感といったイメージがあり、「黒にしておけば間違いない」という人も多いはず。そこでモノ・マガジンは黒いモノを大特集。家電、アウトドア、バイク、文具、腕時計など全ジャンルからブラックギアが大集結。とにかく、黒色にこだわった特集だ!

モノ・マガジン5-16情報号 NO.915

5月2日(火)発売 特別定価 750円(税込)

●モノ雑誌のバイオニア 毎月2回(2日・16日)発売

mono

発行人 ●今井今朝春

編集人 ●前田賢紀

発行所 ●株式会社ワールドフォトプレス

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-12-1

アズ阿佐ヶ谷

TEL:03(6383)2331 [編集部]

03(5929)7682 [メディアビジネス部]

03(6383)2390 [販売部]

FAX:03(6383)2583 [編集部]

03(6304)9443 [メディアビジネス部]

03(6383)2574 [販売部]

印刷所 ●大日本印刷株式会社

●編集の都合上、内容が一部変更される場合もありますのでご了承ください。

●乱丁・落丁は送料小社負担にてお取り替えいたします。

●本文中の価格は消費税込みの総額表示です。

実勢価格は編集部調べの価格です。